



環境負荷低減の取り組み

2019 年 6 月 17 日

環境配慮型素材を使用したお渡し用スプーン・フォーク 「バイオマスプラスチック配合カトラリー」を試験導入

6 月 18 日（火）より大阪府の一部の店舗にて使用開始

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松文彦）は、6 月 18 日（火）より、大阪府の一部エリアのセブン-イレブンにおいて、環境配慮型のプラスチックを使用した「スプーン」等のカトラリーを、試験的に導入いたします。

プラスチック素材の製品は、私達の暮らしにとって便利で欠かせないものになっている一方、石油等の有限な資源だけに頼らず持続的に作り出せる原料を活用することや、焼却時に発生する CO2 の抑制等、様々な課題への対応が求められています。

今回、大阪府の一部の店舗において、弁当等の販売時に添付する「スプーン」「フォーク」に、植物由来の素材を 30% 配合したバイオマスプラスチックで作られた製品を導入いたします。バイオマスプラスチックは、これまでも「レジ袋」に活用しております。

セブン-イレブンでは、今後も有用な素材・製品の試行を通じ、様々な角度から課題の解決に向けた取り組みを行ってまいります。

《概要》

- ◆導入開始 : 2019 年 6 月 18 日（火）～
- ◆対象店舗 : 大阪府の一部のセブン-イレブン（約 360 店舗）
- ◆導入製品 : お客様にお渡しする「スプーン」「フォーク」の 2 種類
- ◆製品特長 : 植物由来の素材を 30% 配合したバイオマスプラスチックを使用。



◇バイオマスプラスチック使用により得られる効果

- ・有限で枯渇が危惧される石油資源の使用を抑えることができる。
- ・使用後燃焼等により二酸化炭素に戻っても、原料となる植物の生成過程において CO2 を吸収しているため、温室効果ガスの総量増加を抑制することができる。

効果：プラスチック使用量約 556t/年 削減

（※全店・全量を変更した場合に見込まれる削減量）



セブン&アイグループは、環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を定め、全てのステークホルダーの皆様とともに取り組んでまいります。